

日光市障がい者の会

柳田 友一 会長
やなぎた ともかず

当会は、日光市身体障がい者福祉連合会(身障)・日光市肢体不自由児者父母の会(父母の会)・日光市手をつなぐ育成会(育成会)・やしお会(精神)の4団体で構成している組織です。会員の高齢化や減少はどの団体でも共通の悩みであり、4団体が協力することで、より良い活動・研修の実施や、障がいがある方でも暮らしやすい日光市を実現していくことができるのではないかと考え、「日光市障がい者の会」の設立に至りました。

入会は、4団体のいずれかへの入会が条件となります。各種手帳をお持ちの方や、賛同していただける方(賛助会員)ならどなたでも入会できます。入会の利点は、会員同士のスポーツを通じた交流会や、会員の要望に応えた研修会の実施、機能回復訓練の研修旅行への参加などを通し、同じ悩みを抱えた方同士がつながる機会を得られることです。11月18日(水)には、障がいのある方が災害に備えどんな準備や行動をしたらいいかを学ぶ研修会を実施しました。

今後も4団体の親睦を深めながら、暮らしやすい日光市の実現のため、さまざまな活動に取り組みでいきます。

「日光市障がい者の会」交流会の様子



卓球パレー



交流会後のお昼ごはん

団体を紹介します

くわしくは ◎この記事について…社会福祉課 障がい福祉係 ☎21-5174

◎障がい者の会、身体障がい者福祉連合会、手をつなぐ育成会、肢体不自由児者父母の会について

…日光市社会福祉協議会 ☎21-2759・FAX 30-4118

◎日光地区やしお会について…特定非営利活動法人 ふれ愛の森 ☎22-7438

◎栃木県自閉症協会 県西自閉症児者親の会(あゆみの会)について

…栃木県自閉症協会 ホームページ(<http://as-tochigi.blue.coocan.jp/>)

日光市肢体不自由児者父母の会

鷹觜 平一郎 会長
たかのほし へいいちろう

当会は、市内居住の肢体不自由児者に対し、必要な知識や技術の向上と、会員相互の連絡の調整を図り、肢体不自由児者の健全な育成と福祉増進を図ることを目的に設立しました。現在の会員数は54名です。

今年、例年参加している「日光市障がい者の会」が主催する、生活機能訓練やパン食い競争などを行う交流会が、中止になってしまいました。また、例年実施している会員による「福祉わかめ」の販売は、多くの方から愛され、今では販売を心待ちにしてください方も増えています。この収入は、活動資金の一部として活用させていただいています。



日光地区やしお会

半田 慶恭 会長
ほんだ よしたか

当会は、栃木県精神保健福祉会の分会で正式名を日光地区精神保健福祉会といます。身内に心の病を持つ家族の会で家族や医療・福祉などの支援者が協力し、心に病を持っていてもその人らしい生活ができる社会を作るための活動をする団体です。精神障がい者は、対人関係などが苦手な方が多く、なかなか周囲の方々の理解を得ることが難しい現状です。しかし、福祉サービス事業などを利用して、地域で生活できる方も少なくありません。また、精神障がいの回復には、家族の理解と協力がとても重要です。当会では、毎月家族会を開催したり、講演会や勉強会に参加したりする活動を通して「焦らず、のんびり、ゆっくりと」、各人に合った生活を共に見つける努力を続けています。



日光市身体障がい者福祉連合会

みやもと かずお
宮本 一夫 会長



当会は、身体障害者手帳をお持ちの方、または当会に賛同される方で構成されており、現在76名が入会しています。市内の他の障がい者団体と連絡を密にしながら、自分自身の機能訓練や会員同士の親睦を図っています。和気あいあいとした雰囲気の中、おしゃべりをしながらモノづくりや挑戦(今年はマスク入れを作成)したり、バスで出掛けてみんなで体を動かしたりなど、体験を通じて機能の訓練を図る活動も行っています。

今年度までは地区などで支部制となっていました。令和3年度から市内の連合会を一つに統一し、より一層親睦を図る予定です。お友達とおしゃべりや外出の機会をつくり、会員の皆さんが楽しいひと時を過ごせるよう、取り組んでいきます。

日光市手をつなぐ育成会

やなぎだ ともかず
柳田 友一 会長



当会は、療育手帳をお持ちの方、または当会に賛同してくださる方で構成されています。県育成会と連携を密にして、知的障がい者がその人らしく生活できるように、福祉の向上のために活動したり、会員相互の交流・親睦を図ったりしています。年々、会員の高齢化などで会員数の減少が進み、現在は35名になってしまいました。そのような中でも、楽しい活動を心掛けています。例えば、バスで出掛けて会員同士の交流を深めたり、いろいろな研修会などにも参加したりしています。

今年、新型コロナウイルス感染症の影響で活動が思うように行かず残念です。早く終息することを願いながら、より良い活動へとつなげていきたいと思えます。

日光市で活動中の障がい者

障がいは、大きく分けて、身体障がい、知的障がい、精神障がいに分かれています。今回、紹介する障がい者団体は、家に閉じこもりがちになっている方々が、団体を通じてつながることにより、楽しみを共有したり、障がい福祉に関する意見を集約して市へ提言したりする機能を担っています。

新型コロナウイルス感染症により活動を自粛している状況ですが、それぞれの団体が協力しながら活動しています。入会についてなど、詳しくはそれぞれの団体へお問い合わせください。

栃木県自閉症協会県西自閉症児者親の会(あゆみの会)

皆さんは、「自閉症スペクトラム」、「発達障害」という言葉を聞いたことはありませんか？ これらは、脳の情報処理に特性がある、生まれながらの脳機能障がいです。臨機応変な行動が苦手、コミュニケーションが不得意、嗅覚や聴覚・触覚などに敏感(鈍感)、こだわりが強いなどにより、周囲から「変わった人」「親の育て方が…」など、大きな誤解を受けることが多々あります。

当会は、このような特性のある方やその家族が、意欲をもって楽しく生活できるように、当事者家族である会員が集まって不安なことや体験を話し合い(茶話会)、障がいの特性や社会のいろいろなことを研修・体験する機会を設けています。活動は日光市・鹿沼市で行っています。随時、会員を募集していますので、ご興味のある方は栃木県自閉症協会のホームページからアクセスしてください。



「あゆみの会」PR活動の様子

